

幸 田 町 勢



## 幸田町のあらまし

### ○ 位置

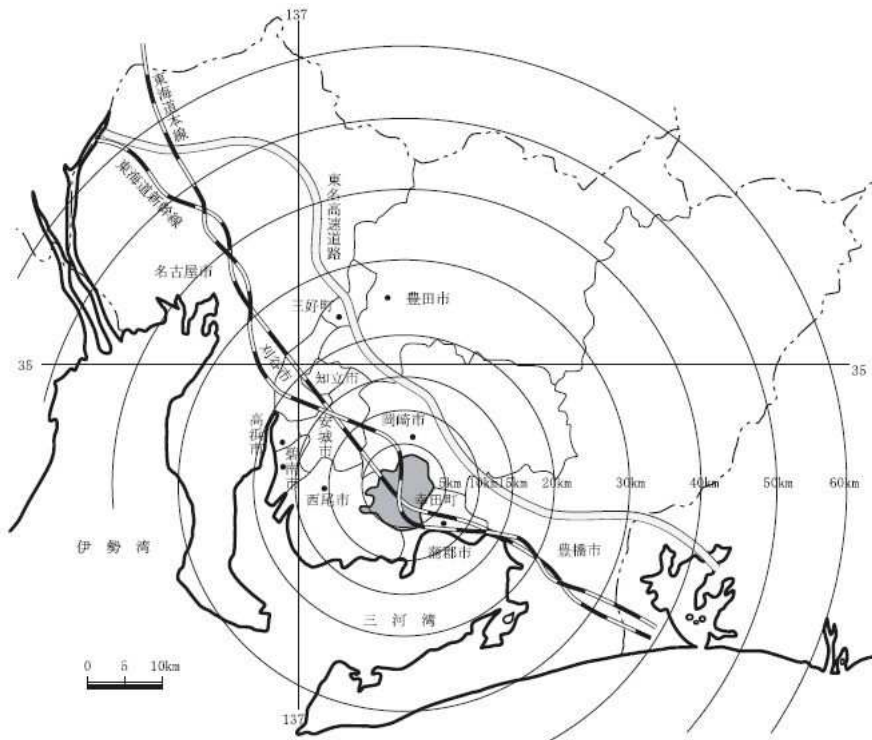
東端 東経 137° 12' 43" 北緯 34° 52' 04"  
西端 東経 137° 06' 03" 北緯 34° 51' 00"  
南端 東経 137° 09' 49" 北緯 34° 48' 54"  
北端 東経 137° 10' 37" 北緯 34° 54' 35"  
東西 10.25 km 南北 10.55 km

幸田町は中部圏の中核都市名古屋市から45km圏内にあり、町の中央部を南東から北西にかけ東海道新幹線が通過しており、南北に東海道本線と国道248号がそれぞれ縦貫し、蒲郡の臨海工業地帯と岡崎・豊田の内陸工業地帯を結ぶ交通の要衝となっている。JR幸田駅を中心に市街地を形成しJR相見駅(平成24年開業)付近では商業施設や住宅の建設が進んでいる。

### ○ 地形

町の西部と東部に領家変成岩からなる300~400mの低地山地があり、中間に拾石から菱池にかけてほぼ南北方面の低地帯が存在し、狭益部を形成している。この低地帯の北部にはかつての菱池が存在し、古くは三河湾の湾入時代としていたことを示す遺跡が周辺に分布する。低地帯の東部で低地山地との間に50~100mにおよぶ洪積台地が展開している。

低地帯は水田、台地は畑地、山地は森林・果樹園に利用され、集落は台地端に多く立地している。



## 沿 革

本町における人間居住の歴史は古く、弥生時代にはすでに旧菱池沼のまわりの台地に集落を形成していたと推定され、一方東方洪積台地には5～7世紀の古墳郡古代中世の古窯跡がみられ、須恵器を始め陶器の生産などの行われた地域が存在し、人間居住の古いことを示している。

三河郡史によれば、応仁の乱以来各地に群雄割拠し、三河国本町においても幾人もの小領主によっておさめられていた独立村等であったと記されている。寛永から明治以降の時代の流れは行政区画も変わり廃藩置県そして郡区町村と編成が変転し、本町の東半分は額田郡十三ヶ村が西半分は幡豆郡八ヶ村が位置していた。その後明治39年には額田郡広田村と幡豆郡豊坂村の二ヶ村になった。

### (1) 萌芽期

明治41年9月、東海道本線幸田駅が開設してそれと同時に広田村が幸田村に改名、駅付近には、商店および住居が立ちならび商店街形成の第一歩となった。

### (2) 拠点形成期

昭和9年1月、愛知県織物株式会社幸田工場の進出により人口も増加し、街も活気を帯びるようになった。

### (3) 兵器産業進出期

昭和17年4月、大東亜戦争により、大日本兵器株式会社が進出し、繊維産業から兵器産業に転換した。

### (4) 工業化進展期

終戦により昭和21年6月再び兵器産業から繊維産業となり、昭和29年8月1日駅勢圏・商圏で幸田の圏域内に含まれる幡豆郡豊坂村が合併、現在の町域となった。

その後社会経済の進展により町内各所に中小企業の進出。昭和38年8月、町の中央を東海道新幹線が開通し幸田南部地区開発を目的に、昭和42年3月東海道本線三ヶ根駅が開設され、この地域周辺の開発拠点となった。

昭和42年3月、幸田駅西へ県企業庁による241,300㎡の工業団地が完成、昭和47年3月同じく357,000㎡の工場団地が坂崎地区に完成し、企業が進出しており続いて昭和61年3月芦谷地区に360,000㎡の中部工業団地が完成、平成3年9月には304,000㎡の長嶺地区工業団地が完成し、活力ある明日のために着実に進展しております。

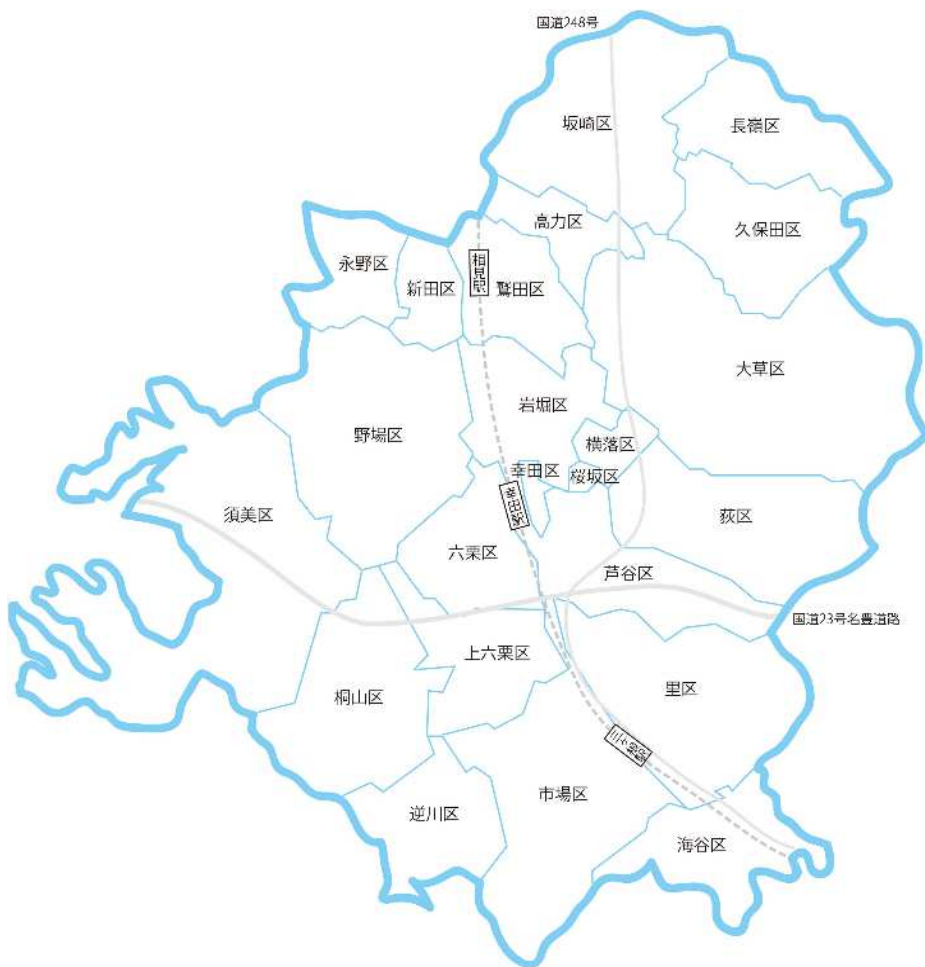
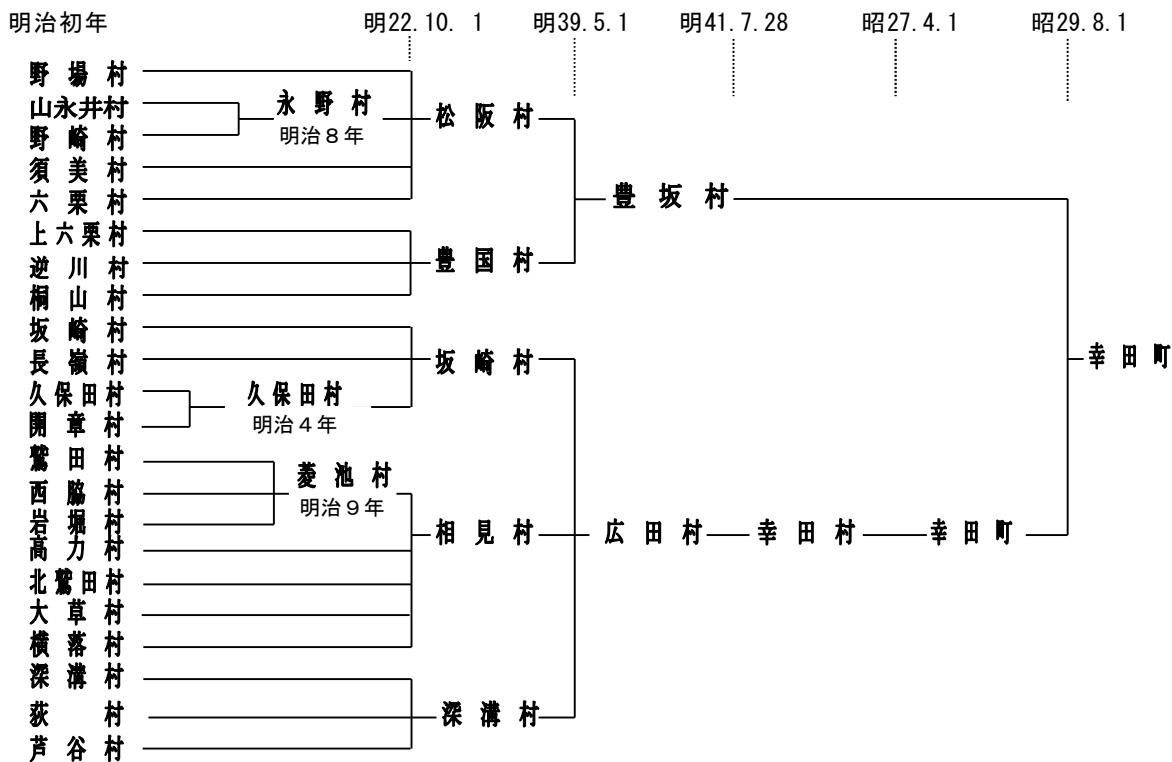
平成15年に六栗地区、平成19年から須美地区に自動車関連の企業を中心とし、電子機器、医薬品製造業の多彩な業種の誘致を行っており、安定した税収の確保はもとより、定住人口増加、雇用機会の創出、関連産業の集積など、地域経済等の活性化を図っている。

### (5) 市街地形成期

平成24年3月東海道本線相見駅が開設され、本町はJR幸田駅、相見駅、三ヶ根駅、周辺市街地にハピネス・ヒル・幸田周辺の地域交流拠点を加えた4つの都市核（3駅プラス1）を都市づくりの骨格としてコンパクトでまとまりのある市街地形成を計画的に誘導している。

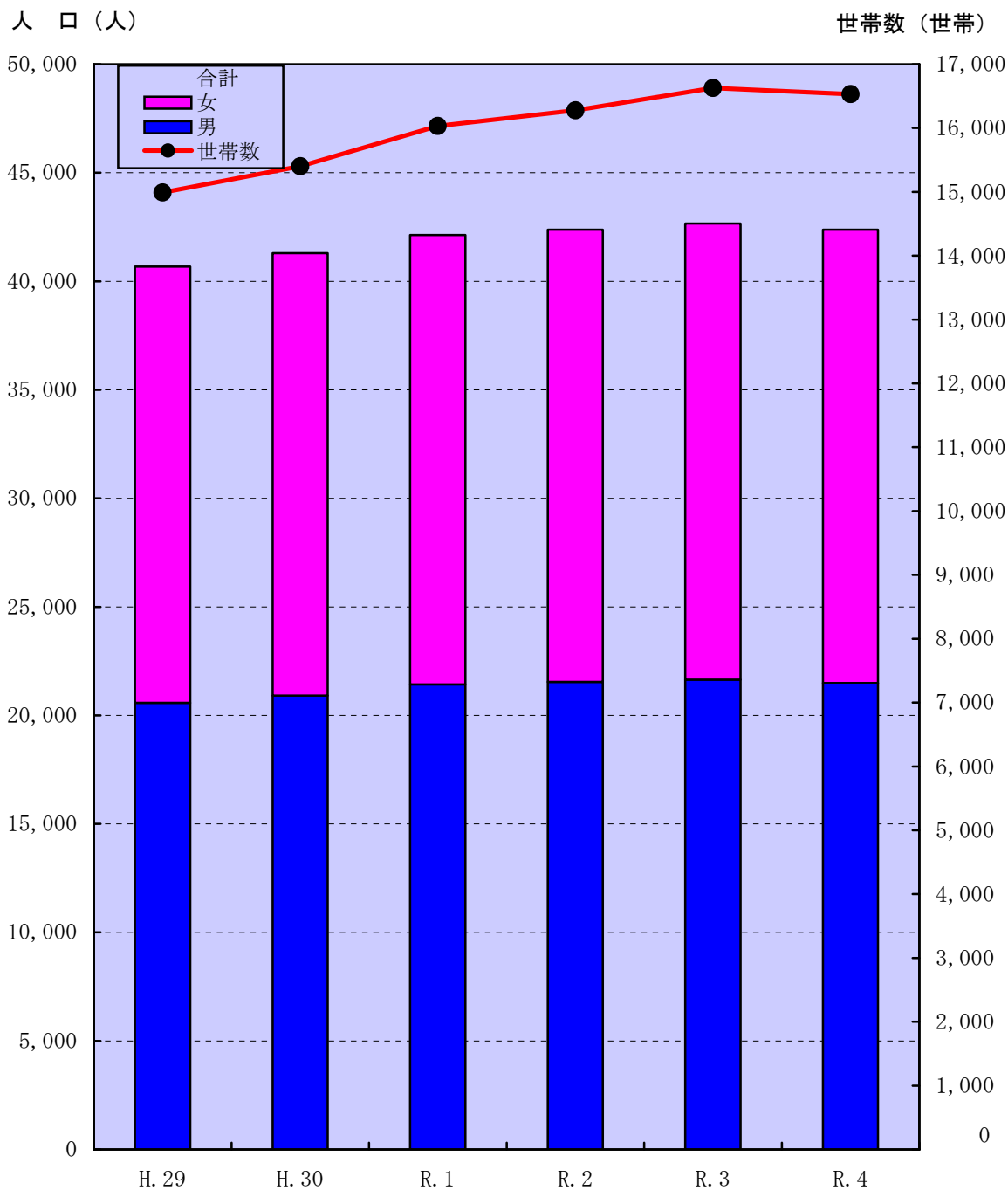
また、国道248号を南北基幹軸、国道23号（名豊道路）を東西基幹軸と位置づけ、4つの都市核ならびに周辺市街地、集落地、工業地などの都市機能を有機的に結びつける道路網の整備を進めている。

# 幸田町のうつり変わり



現在の幸田町

# 人口動態



各年4月1日

	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
合計 (人)	40,677	41,296	42,126	42,430	42,658	42,371
男 (人)	20,580	20,918	21,422	21,568	21,641	21,485
女 (人)	20,097	20,378	20,704	20,862	21,017	20,886
世帯数 (世帯)	14,992	15,404	16,034	16,344	16,627	16,532